

| (1) 歴史をつなぐ              |                                                                                                    |                             |              |                                                                              |                                                                    |      |     |         |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|-----|---------|
| 事業                      | 活動目標                                                                                               | 評価指標                        | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                            | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (1)-1<br>調査研究事業         | いちはらの歴史文化の成り立ちと発展を解明するために、幅広いテーマで継続的に調査研究を行います。                                                    | 資料調査件数【定量】                  | 20件          | 28件                                                                          | 65件                                                                | 4    | 3.8 | 3.8     |
|                         |                                                                                                    | 研究成果の発表【定性】                 | —            | 常設展示・季節の展示、館長講座                                                              | 展示活動は、特別展をはじめ、季節の展示、市民連携展示等を実施し、講座としては、館長講座、古文書講座等を複数回実施。          | 4    |     |         |
| (1)-2<br>資料収集保存事業・貸出事業  | いちはらの地域文化を特徴づける、考古・歴史・民俗資料等を継続的に収集し、市民の共有財産として適正な環境で保存・管理します。地域資料の散逸や棄損を防ぎ、保護するため、資料所在の情報収集にあたります。 | 資料収集方針の策定とその方針に則った資料収集【定性】  | —            | 寄贈受入件数：５件（主に江戸時代以降の市内古文書、初午講に関する資料他）                                         | 寄贈受入件数は8件、寄託資料件数は3件であったが、資料収集方針は検討中。                               | 3    |     |         |
|                         |                                                                                                    | 資料整理及び資料保存対応【定性】            | —            | 常設展示資料の整理、古文書資料群3件、古文書修復4件、燻蒸1回                                              | 資料所在情報収集は21件、古文書資料群の整理は7件実施し、古文書修復に加え資料燻蒸も年2回実施しており、IPMを意識した管理を実施。 | 4    |     |         |
| (2) 人をつなぐ               |                                                                                                    |                             |              |                                                                              |                                                                    |      |     |         |
| 事業                      | 活動目標                                                                                               | 評価指標                        | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                            | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (2)-1<br>地域連携事業         | 地域住民が行う調査・普及活動を支援し、情報・意見交換等、地域間をつなぐ活動を行います。近隣地域の自治体との広域的な連携を図ります。                                  | 市民との協働による調査活動件数【定量】         | 5件           | 4件                                                                           | 8件                                                                 | 4    | 3.8 | 3.8     |
|                         |                                                                                                    | 地域活動団体との連携活動件数【定量】          | 5回           | 4回                                                                           | 30回                                                                | 4    |     |         |
|                         |                                                                                                    | 近隣地域の自治体との広域的な連携【定性】        | —            | 千葉市立加曽利貝塚博物館との連携協定締結                                                         | 加曽利博での連携展を10/3～11/26の期間実施、また加曽利博との連携講座を11/23に実施。                   | 4    |     |         |
| (2)-2<br>ボランティア育成事業     | 地域の活動や博物館運営サポートを担う人材を育てるとともに、やりがいや生きがい、交流の機会を創出します。                                                | アイミュージアムサポーター研修の回数【定量】      | 8回           | 11回                                                                          | 9回                                                                 | 4    |     |         |
|                         |                                                                                                    | 新たな人材の登録数【定量】               | 10人          | 10人                                                                          | 9人                                                                 | 3    |     |         |
| (3) 歴史を活かす              |                                                                                                    |                             |              |                                                                              |                                                                    |      |     |         |
| 事業                      | 活動目標                                                                                               | 評価指標                        | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                            | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (3)-1<br>展示事業           | 調査研究の成果を常設・特別企画展示として公開します。                                                                         | 企画展等の実施回数【定量】               | 5回           | 2回（「季節の展示 初午」「火災予防展示」（市消防局との連携）                                              | 特別展：1回、季節の展示：2回<br>ミニ展示：3回<br>合計 6回                                | 4    | 3.3 | 3.3     |
|                         |                                                                                                    | 特別展・企画展の実施と観覧者数【定量】         | 1万人          | —                                                                            | 特別展：5,770人                                                         | 1    |     |         |
| (3)-2<br>教育普及事業         | 市民の学習活動を支援するため、展示解説や各種講座・講演会等を開催します。多様な参加者を想定した数種の内容を用意することで、リピーターの獲得に努めます。                        | 講座・講演会の開催回数【定量】             | 8回           | 1回                                                                           | 館長講座：6回、いちはら郷土学習講座：3回、古文書講座：6回、特別展講演会：1回、伝統技術ワークショップ：1回<br>合計 17回  | 4    |     |         |
|                         |                                                                                                    | 体験講座内容の充実【定性】               | —            | 子ども～大人を対象に伝統技術ワークショップ、子ども対象にした夏休みものづくり体験講座、開館日の3Dプリンターを活用した歴史造形物への色付けワークショップ | 特別展開連の体験講座のほか、夏休み特別体験など体験内容の充実に努めた。                                | 4    |     |         |
| (3)-3<br>フィールドミュージアム事業  | 市内各地の歴史遺産を屋外展示として整備し、地域住民とともにフィールドミュージアムを展開します。                                                    | 計画的な整備【定性】                  | —            | 次年度に見送る                                                                      | 市内4地区の整備                                                           | 4    |     |         |
|                         |                                                                                                    | フィールドミュージアムの活用【定性】          | —            | ふるさと市原をつなぐ連絡会を中心に、姉崎地区、千種・島野地区、鶴舞地区の歴史遺産巡り計4回実施                              | ふるさと市原をつなぐ連絡会を中心に25回実施、いちはら郷土学習講座で1回実施。計26回実施。                     | 3    |     |         |
| (4) 魅力の発信               |                                                                                                    |                             |              |                                                                              |                                                                    |      |     |         |
| 事業                      | 活動目標                                                                                               | 評価指標                        | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                            | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (4)-1<br>情報発信・プロモーション事業 | 広報誌や情報通信技術（ICT）等を活用し、活動内容や成果、いちはらの歴史遺産の魅力を発信し、広めていきます。PRイベント等を通じて、博物館事業のより一層の周知を図ります。              | 専用ウェブサイトのアクセス数（ページビュー数）【定量】 | 40万件         | 404,518件                                                                     | 399,997件                                                           | 3    | 3.6 | 3.6     |
|                         |                                                                                                    | ウェブサイト・SNS・広報誌等の情報発信件数【定量】  | 60件          | ウェブサイト44件                                                                    | ウェブサイト：133件<br>SNS：181件(リポスト含む)<br>広報紙：12回                         | 4    |     |         |
|                         |                                                                                                    | 市原歴史博物館の認知度【定量】             | 市内75％        | —（市内認知度25％→66％）                                                              | 市内64.6％、県内33.9％<br>（調査サンプル数を増やしたため数値は減少、実数は増加）                     | 3    |     |         |
| (4)-2<br>発行等事業          | 展示図録、フィールドミュージアムに関する発行物、活動報告等を通して、活動成果を広く公表します。                                                    | 特別展・企画展の図録の発行【定性】           | —            | 常設展示図録の発行                                                                    | 特別展「いちはらのお薬師様」図録の発行、常設展図録の増刷をした。                                   | 4    |     |         |
|                         |                                                                                                    | フィールドマップの発行・改訂【定性】          | —            | フィールドマップの改訂2回・増刷2回                                                           | 新規に4地区のフィールドマップを発行し、既存地区を増刷。                                       | 4    |     |         |

| (5) 次世代につなぐ            |                                                                                                              |                                 |              |                                                                              |                                                                               |      |     |         |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|-----|---------|
| 事業                     | 活動目標                                                                                                         | 評価指標                            | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                                       | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (5)-1<br>博学連携事業等       | 展示解説や学習活動の支援ほか、学習教材の開発や各種情報の提供などを行います。博学連携検討会を設けてより良い取組の在り方を検討します。また、高校・大学、社会教育団体等との連携を図り、生涯を通じた学びの機会を提供します。 | 小学校の来館校・来館回数【定量】                | 40校60回       | 小学校33校／40校<br>中学校6校／20校<br>特別支援学校1校                                          | 市内小学校37／40校<br>市内中学校4校／21校<br>特別支援学校1校<br>42校62回                              | 3    | 3.7 | 3.7     |
|                        |                                                                                                              | 小中学校の博物館利活用内容【定性】               | —            | 常設展示解説、泥めんこづくり・火おこし体験、昔の暮らし体験（民具の体験、明かりの体験）                                  | 常設展示解説、火おこし体験、昔の暮らし体験（民具の体験、明かりの体験）等を実施。                                      | 4    |     |         |
|                        |                                                                                                              | 高校や大学との連携【定性】                   | —            | 姉崎高校・袖ヶ浦高校と共にものづくり体験講座の運営サポート。千葉大学との連携による触れる展示の実施、ミュージアムグッズへの展開、特別ワークショップの運営 | 特別展にて姉崎高校・袖ヶ浦高校とZ世代解説の作成、千葉大学と触れる展示の継続、ミュージアムグッズの製作、ワークショップの運営等実施。            | 4    |     |         |
| (6) 市民の参画と協働を可能にする運営体制 |                                                                                                              |                                 |              |                                                                              |                                                                               |      |     |         |
| 事業                     | 活動目標                                                                                                         | 評価指標                            | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                                       | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (6)-1<br>ボランティア活動事業    | アイミュージアムサポーター等との連携・協力による運営を行います。                                                                             | アイミュージアムサポーターの活動延べ人数【定量】        | 1500人        | 668人（開館前を含む。開館後560人）                                                         | 1,797人                                                                        | 4    | 4   | 4       |
|                        |                                                                                                              | アイミュージアムサポーターの活動内容【定性】          | —            | 体験講座サポート、学校団体の体験学習サポート                                                       | 学校団体の体験学習サポート、土日祝日の体験講座サポート、土日祝日の常設展示案内、サポーター研修等を実施し活動内容の充実を図った。              | 4    |     |         |
| (7) 安定的かつ持続的な管理運営      |                                                                                                              |                                 |              |                                                                              |                                                                               |      |     |         |
| 事業                     | 活動目標                                                                                                         | 評価指標                            | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                                       | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (7)-1<br>施設管理運営事業      | 来館者サービスを充実させ、来館者のニーズ等に素早く対応して博物館活動を効果的に行います。来館者の安全に配慮した施設の維持管理を行います。                                         | 来館者ニーズの把握と対応【定性】                | —            | 希望する団体に対し、展示解説を実施。個人の方で展示解説をしてほしいとの声に応え、館長のガイドツアーを実施。展示室内に椅子を設置。             | 常設展示解説を希望する声に応え、ミュージアムサポーターによる土日祝日の展示案内を実施。土日祝日の小湊バス運休にともなう、シャトルバスの運行を開始。     | 4    | 3.7 | 3.7     |
|                        |                                                                                                              | 維持管理に携わる委託業者との課題点の共有と改善への努め【定性】 | —            | 施設管理・展示設備保守業者の点検と、敷地内清掃改善やバックヤードへの扉のゆがみ改善。                                   | 空調設備の点検と改善を設備業者と共有し、設備管理方法の改善を実施。                                             | 3    |     |         |
|                        |                                                                                                              | 展示設備の定期的な保守点検【定性】               | —            | 展示設備、映像設備の保守調整。「王賜」銘鉄剣展示ケース窒素ガス濃度の常時モニタリング、窒素ガス封入。                           | 展示設備、映像設備の保守調整。「王賜」銘鉄剣展示ケース窒素ガス濃度の常時モニタリング、窒素ガス封入。文化財IPMの観点から館内の空気質等の環境調査を実施。 | 4    |     |         |
| (8) 自己評価及び外部評価の運営への反映  |                                                                                                              |                                 |              |                                                                              |                                                                               |      |     |         |
| 事業                     | 活動目標                                                                                                         | 評価指標                            | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                                       | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (8)-1<br>博物館協議会        | 博物館協議会を設置して、中長期的な事業目標と計画を策定し、事業の有効性や効率性、社会への貢献度等について定期的に評価・分析を行い、PDCAサイクルによる改善に取り組んで、運営に反映させます。              | 博物館協議会の設置と開催【定性】                | —            | 博物館協議会設置に先立ち、8月8日に委員の顔合わせを兼ねた博物館懇話会を実施。11月20日協議会設置、3月9日令和4年度第1回博物館協議会開催。     | 8月4日に第1回博物館協議会を、2月20日に第2回博物館協議会を開催。                                           | 4    | 4   | 4       |
|                        |                                                                                                              | 定期的な評価の実施と改善【定性】                | —            | —                                                                            | —                                                                             |      |     |         |
| (9) その他                |                                                                                                              |                                 |              |                                                                              |                                                                               |      |     |         |
| 事業                     | 活動目標                                                                                                         | 評価指標                            | 定量評価指標に対する目標 | (参考) 令和４年度実績                                                                 | 令和５年度実績                                                                       | 自己評価 |     | 協議会委員評価 |
| (9)-1<br>博物館年間来館者数     | 博物館に来館する展示の観覧者のみならず、アイミュージアムサポーターの活動や講座の受講者、レファレンス等、様々な観点から博物館を利用できるような、歴史と人をつなぐ博物館を目指します。                   | 博物館の来館者数【定量】                    | 3万人          | 15,247人                                                                      | 24,362人                                                                       | 3    | 3   | 3       |